

平成 22 年度

河川名	地点	水素イオン濃度		生物化学的酸素要求量		浮遊物質量		溶存酸素量					
		PH		BOD		SS		DO					
		月	年平均	月	年平均	月	年平均	月	年平均				
神田川	久保前橋	5	8.0	8.0	5	1.5	1.5	5	2	5.5	5	10.0	10.5
		9	7.9		9	1.9		9	13		9	7.8	
		11	7.9		11	0.7		11	3		11	10.0	
		2	8.3		2	1.9		2	4		2	14.0	
	高戸橋	5	7.1	7.2	5	1.6	1.5	5	<1	1.8	5	8.9	8.7
		9	7.2		9	1.8		9	4		9	7.1	
		11	7.3		11	<0.5		11	<1		11	8.7	
		2	7.2		2	2.2		2	1		2	10.0	
妙正寺川	四村橋	5	7.5	7.5	5	1.5	1.3	5	2	1.5	5	8.5	8.6
		9	7.6		9	1.3		9	2		9	7.6	
		11	7.4		11	0.6		11	<1		11	8.4	
		2	7.5		2	1.7		2	1		2	10.0	

各項目の解説

水素イオン濃度 (PH)

水の酸性、アルカリ性を示す指標。0から14の間の数値で表現されています。PHの数値が7だと中性、7から小さくなるほど酸性が強く、7から大きくなるとアルカリ性が強いことを表しています。

環境基準 6.5～8.5(C類型)

生物化学的酸素要求量 (BOD)

微生物が水中の汚れ(有機物)を食べる(酸化分析)時に必要とされる酸素の量をもって表したものです。値が大きくなるほど河川が汚れているということを表しています。

環境基準 5mg/l以下(C類型)

浮遊物質 (SS)

水中に浮遊している不溶性の物質。水の濁りの原因となる。光の透過を妨げ、河底に堆積すると河底の生物にも悪影響を及ぼします。

環境基準 50mg/l 以下

溶存酸素量 (DO)

水中に溶解している酸素の量です。1気圧のもとで20度の清水には約9mg/lの酸素が溶け込みます。気圧、水温などによっても数値は変動します。また、日中、水中植物の光合成が行われるとDOは高くなります。

環境基準 5mg/l以上(C類型)